

取組結果と取組後の成果について

平成26年度の事務・事業見直し委員会において、「事業結果と事業成果の明確化」として以下の提言がありました。

この提言を踏まえ、行政改革大綱実施計画・評価表において、取組結果だけでなくできる限り取組後の成果を示すことで、本県の行政改革の取組を広く県民にわかりやすいかたちで示していこうと考えています。

効率的で質の高い行政を進めるためには、政策や施策の具体的な取組について、達成状況や成果の点検・評価を行うことにより、改善につなげるとともに、次の計画策定に生かしていくことが重要である。

こうした仕組みをしっかりと行うには、計画の段階で目標をできる限り数値化し、明らかにしていく必要がある。

本委員会の審議に当たっては、事業実績（アウトプット）と事業成果（アウトカム）の整理が不明確なものが多く見受けられたことから、事業実績と事業成果の区分を明確化し、可能な限り定量的な分析・評価を行い、特に、事業成果については、こういう結果につながったということ、広く県民にわかりやすいかたちで示していくことが望まれる。

そのためには、事務事業全般に係る目標設定、自己評価等を計量的に明示するための基準、方法等に関して、説得力・妥当性の高い「モデル」をつくるなど、ある程度、統一的な視点で評価しやすい環境整備について検討する必要がある。

なお、基準モデルの策定に当たっては、幅広い情報や専門的な知見が必要とされることから、外部有識者を含めた委員会で検討することも考えられる。

※参考：「業務改善のヒント」（（総）総務課平成27年3月改訂）より

【Point②】 アウトプットとアウトカム

アウトプットとアウトカムは、言葉も似ていますし、一見混同してしまいがちですが、区分して考える必要があります。

アウトプット：結果。何をしたか、何がどの程度できたか。事業の具体的な活動量や活動実績。

アウトカム：成果。県民の何がどのように改善されるか。県民の視点からとらえた具体的な効果や効用。〈取組実施後に発生した良い変化〉

例えば、「交通安全の推進」という施策を構成する「歩道の設置」という事業があるとすれば、「歩道を年度内に〇〇m設置」と事業の量をそのまま表現するのがアウトプット指標であり、その成果として「交通事故件数が〇件減少」と表すのがアウトカム指標です。